

National

脱暴君は ナショナル



技術とパワー
がぎっしり。さらに
長もちの頼れる底力。

ナショナル乾電池

ナショナル・バナソニック
不思議なライダー
[プレゼント]

抽選で毎週500名様
(合計6,000名様)に。

●ナショナルまたはバナソニック乾電池のバーコードを店頭の応募ハガキに貼ってご応募ください。●締め切り8月31日(当日消印有効)(わらわは店頭で)

松下電器・松下電池

影響力を行使したい。そこで来年秋の自民党大会では総裁公選をしようといつていて。これに対し金・小ラインは世代交代論。海部政権が10年20年続いてもいいじゃないかと公言しつつ、海部から小沢への政権委譲を狙っている。

その意味では、金丸訪朝は竹下日韓議員連盟会長への強烈なあてつけだというのだ。ある竹下派議士もいう。

「党内は金丸突出です。昭和33年初当選組(同期)の安倍さんが、『金丸クン』とクンづけて呼ぶと金丸さんがイヤな顔をする。いまや、オレは昔のオレならぬということ

資金といえば、金丸訪朝には、長い目でみた巨大な利権への野望がかくされていると指摘する向きもある。

これも、別な竹下派中堅代議士の話である。

「金丸さんはいまとてつもない大構想を抱えてる。それは、イギリスからヨーロッパ、ソ連、中国、北朝鮮、韓国と通つて日本までを鉄道で結ぼう」という計画。日韓は玄界灘に海底トンネルを通し全体をリニアモーターカーで結ぶ壮大なプランで、いかにも金丸好

み。とくに海底トンネルは総工費5兆円で全長230km、20年後の実現時には、和解した南北朝鮮を通じて日本まで一本の鉄道が貫通する。この経済効果は大きいだけでなく、ここから吸い上げる利権は膨大になる」

「あの金丸さん」ならではの壮大な利権ぶくみの発想が訪朝につながったというのだ。

現実に日韓トンネル研究会顧問で元国鉄施設局長でもある自民党的野沢太三参議院議員にもきいてみると、



▲かつて一枚岩だった二人だがいま全面対決……

です。財界の首領、瀬島龍三さんが最近、金丸・小沢と竹下さんを誘って食事をし手打ちさせたと聞くけど、あんなものではもうおさまらないで

争もはじまっています」

「金丸信は日本の鄧小平だ」

「日韓トンネルについては現実に両国で話をすすめています。壱岐、対馬経由で全長230km。双方から掘れば5年か6年で完成します。日韓議員連盟の竹下会長を通じて両国家間の検討課題に引き上げていただく方針です。むろん

南北朝鮮の統一を視界に入れた計画で、金丸訪朝が南北交流のきっかけになればこんな嬉しいことはないですね」

壮大なる平和計画なのか、遠大な利権工作なのか。利権といえば、北朝鮮の埋蔵資源メタルも金丸氏の視野の中に

あるという人もいる。

「北朝鮮にはタンゲステンの鉱床は豊富なはず。アメリカの衛星ランドサットで金の鉱床も確認されてる。ほかに原油を含んだオイルシェールも見込まれるけど、いずれもい

まの北朝鮮の技術開発力では無理でしょう」(大手商社非鉄部門の部長)

「金丸信の訪朝だけに永田町ではいろいろと取り沙汰されているが、政治評論家の三宅久之氏が、こんな見方を披露してくれた。

「金丸信は、政治家としての最後の花を咲かせたいんじゃないだろうか。大野伴睦とか嬉しくはないですか」

三木武吉のような「悪役」も晩年は「天下國家」ばかりを論じていた。金丸もおなじタイプの政治家だからね。金丸

信という政治家は、いまや日本で最も強大な力を持つている

天安門事件で学生を弾圧し晚節を汚したが、さて日本の鄧小平は……。